

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部)― コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部)― 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高次連携に配慮した教育内容(学部)―

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 高度専門職業人を目指す要求に対応したカリキュラムを作成する。	→ 「教育学研究科の教育課程を継続的に検討する委員会の有無と検討状況」「必要な授業科目数の増加」「大学院の科目における授業形態に関する調査」	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

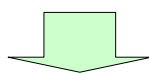
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 高度専門職業人を目指す要求に対応したカリキュラムを作成する。 (現状説明) 学生が高度な専門的知識を身につけると共に、実践的力量を強化するよう編まれたカリキュラムにそって授業を行っているが、その適切性を、十分に検証するまでには至っていない。教育課程を継続的に検討する特別な委員会は設置していないが、月に1度開催される研究科委員会で、カリキュラム上の課題があれば、検討するようにしている。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明)
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	教育課程を継続的に検討する委員会を設置し、現行カリキュラムや授業形態に関する課題を整理する。
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	研究科委員会での問題意識の共有。
★小項目6.2.2	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	研究科委員会で、現行カリキュラムや授業形態に関する課題を出し合い、教育課程を継続的に検討する体制作りを行う。
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○小項目6.2.2について記述がありませんが、重要な項目ですので入念な検証が望まれます。

## 【学内委員】

○各項目について適切に評価されています。また、改善の方策も具体的に記述され、評価できます。

○HPでは、授業内容の説明として一部の科目の紹介がありますが、それだけでは体系的に編成されているか判りません。この整備も求められます。

○6.2.2の現状説明をしてください。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

6.2.2「現状説明」に下記のように追記。

(現状説明) 臨床教育学領域と幼児教育学領域の2領域別に、適宜、科目担当者によって教育内容について話し合いが行われているが、研究科全体の教育課程の実施方針に照らして、教育内容の検証を行うまでには至っていない。

★6.2.2「改善すべき事項」に下記のように追記。

研究科委員会での教育内容についての問題意識の共有。

6.2.2「改善方策」に下記のように追記。

研究科委員会で、教育内容に関する課題を出し合い、検討する体制作りを行う。

**V. 本項目の評価指標**

## &lt;全学的な指標&gt;

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

## &lt;個別的な指標&gt;
